

令和7年度 第2回磐田市スポーツ推進審議会 会議録

【日 時】 令和7年10月22日（水）午後3時から午後4時30分

【会 場】 磐田市役所本庁舎大会議室

【出席者】 13名

【欠席者】 1名

【事務局】 6名

【サーベイリサーチセンター】 1名

1 開会

2 会長挨拶

3 協議事項

（1）第2期 磐田市スポーツ推進計画（案）について

事務局

資料「第2期磐田市スポーツ推進計画（案）」説明

委員

身障福祉会ではモルックを始めたいと考えている。体育館内ではフロアが傷ついてしまうと思うが、対策してもらうことはできますか。

事務局

木製ではなく屋内で取り組むことができるようスポーツ推進委員がお手製のものがあります。貸出も行っているのでぜひ活用してもらいたいです。

委員

みなさんモルックは御存知でしょうか。フィンランド発祥のスポーツであり、元々屋内で実施することは想定されていないスポーツです。しかし我々スポーツ推進委員の派遣先はサロンや小学校等屋内で実施する場所がほとんどです。ですから、様々な材料を使って手作りしているのです。決められた道具で行っているわけではないため、モルック風スポーツと呼んでいます。

委員

資料について質問です。12ページの「スポーツが好き」と答えるこどもの割合についてですが、全国平均と比較できる数字があれば教えていただきたいです。

事務局

こちらの数値については小学5年生と中学2年生の調査結果となります。全国平均の数値について手元にありませんので、改めてお答えさせていただきます。

会長

第4章にすべてが書かれていますので、一つずつ確認していきたいと思います。スポーツ×健幸についてお気付きの点ありましたらお願いします。

委員

スポーツ×健幸の「健幸」に込められた思いについて教えていただけるとありがたいです。

事務局

磐田市には健幸づくり21というものがあり、この漢字を使っています。スポーツ推進計画でも、スポーツ面だけでなく健康分野とも連携しながら健康支援を行っていきたいという思いからこの漢字を使わせていただいております。

委員

初めてみる人にとっては「健幸」は造語ですので、どこかに説明を入れていただけるとありがたいです。

また、スポーツを好きな子の数値については中学校、高校となるにつれて数値が下がり、特に女子が下がる傾向があるのではないかと思います。そんな中で、磐田市の子の数値については高いのではないかと考えております。

委員

学習指導要領では1年生が102時間、2・3・4年生が1105時間、5・6年生が90時間体育の授業があります。スポーツ推進委員会の方の活動や磐田市主催のイベントはもちろん大切ではありますが、やはり土台となるのは学校体育です。学校現場では若手が増えてきている中で、体育の研修が深まらないまま授業を展開してしまうこともあるのではないかと思います。子どもたちにとって楽しい体育授業を、身体を動かすことが楽しいと感じてもらう体育授業を展開するために指導者研修等にも力を入れていかなければならないと感じています。

会長

スポーツ×共創についてはみなさんイメージができるかと思いますが、健幸についてはインターネットで検索かけても意味が出てこないなので、やはり補足説明は必要かなと思います。

委員

部活動の地域移行に取り組んでいます。今年から3つの競技では大会に出たり本格的に活動しています。地域移行については保護者の方を始め不安に思われている方もいらっしゃるかと思います。YouTubeで発信したり保護者の方が集まる場に担当が説明に行ったりしていますが、なかなか周知しきれていないという状況です。磐田市は全国的に見てもスムーズに移行できているのではないかと考えております。

委員

小学生の娘は今ミニバスをしています。そんな娘がスポカルで入りたいクラブのアンケート

トに回答していましたが、その質問の選択肢にはサッカーやバスケットがなく魅力を感じていませんでした。現状少年団等クラブはたくさんあるのでそこどのように関係していくのか、スポカルの指導者登録にハードルの高さを感じている方もいらっしゃると思いますが、そのような指導者がどの程度いるのか分かるのでしょうか。

委員

情報の整理をさせてください。バスケットやサッカーを続けていくためにスポカルという組織をつくっています。簡単に説明するとこれまでは単体の中学校でチームが成り立っていましたが、現状難しくなっているため、3つの中学校で一つのチームをつくることになります。よって、スポーツや競技を続けられなくなるということはありません。様々な情報が錯綜しており、アンケートの選択肢ということについても不明ではありますが、先ほど申した通り混乱している保護者やこどもが多いのが現状です。

委員

これまでは先生が練習試合を組んで先生が引率して試合をしてきました。これからは先生が試合を組んでも引率ができないため試合数が減ってしまうのではないかと思いますがいかがでしょうか。

委員

平日は学校の先生が指導、土日は外部コーチが指導というところが多くなると思いますが、しっかり連携することでそのようなことはないと思います。また、不明な点は進学予定先である中学校に問い合わせただければ確かなと思います。もし学校に聞いても分からなければ教育委員会に問合せしてもらえばよいと思います。今のままでは少子化に抗えずに活動ができなくなるというところですので、簡単に言えば合同チームをつくって活動していくというイメージです。

委員

管理職はいろいろな会合に出ているので理解が深まってきているかと思いますが、正直教諭についてはまだ理解が不十分なところがあります。

南部中学校では質問会を開催しました。放課後活動課の担当に来てもらって質問に答えてもらう機会を設けました。参加された方は「思っていたことと違う」とずいぶん安心されていました。

会長

スポカルはスポーツのまち推進課ではなく放課後活動課になりますので、情報を共有してもらえればと思います。

委員

13ページの多様なスポーツに親しむ機会の提供について新規の取組になります。具体的な内容についてお知らせください。

事務局

多様なスポーツに親しむ機会の提供については大学等で研究されていることを多く目にします。多様なスポーツを経験することのメリットもあると感じます。トップレベルのアスリートの妙技を目にする場、体感する場の提供、運動してみる経験は非常に大切なことであると考えています。

会長

スポーツ推進委員の派遣について改めてご紹介ください。

委員

スポーツのまち推進課に希望が届くとスポーツ推進委員に相談が来るという流れになっています。小学校ですと4年生は福祉に関する学習をしているところが多いのでニュースポーツ体験の申込があります。障害をもつ方とも一緒にできるスポーツの希望があることもあります。窓口はスポーツのまち推進課になりますので、ぜひご活用ください。

事務局

スポーツ推進委員の方の活動については拡充していきたいと考えています。ぜひとも紹介をしていただければと思います。

会長

スポーツ×共創の中のスポーツプラットフォームについて紹介してください。

事務局

スポーツプラットフォームと聞くとイメージしにくいと思いますが、スポーツを使って何かできないかと考えるチームや団体が集まってスポーツと掛け合わせることで集客につながる、ビジネスが生まれるといったことへつながるような場を定期的に設けています。また、環境や健康について講師を呼びながら学習する場も設けています。プラットフォームの会員が定期的に集まり話し合うことで、掛け算によって新たなものが生まれるのではないかと期待しています。現在会員数は約80となります。

委員

成果指標で質問です。スポーツ×他分野との連携プログラム数の実績がないところから、5年で8件というのはどのように数えるのでしょうか。市のイベントや取組として他の分野との連携プログラム数でカウントするのか、プラットフォーム会員の取組までをもカウントするのか、お聞きしたいです。

事務局

プログラム数という表記が分かりにくかったと思います。プロジェクトの数と認識してもらえればと思います。事務局にこんなプロジェクトに取り組みたいという申出をしてもらい、市の方で調整していけたらと思います。現状3つほど動き始めていますのでその数が伸びればと思います。

プロジェクトはスポーツプラットフォームの中で生まれたものとなります。動き始めた3つのプロジェクトは「腸活」「食」「女性が輝くまち」となります。

委員

現状市内中学校にラグビー部がないということで、磐田合同部活という形で指導者の派遣をしています。来年度の磐田合同部活をどうしていくのかという話を放課後活動課と検討しております。部活動であれば家庭の負担も少ないかと思いますが、地域移行することで負担が増えるのではないかと危惧しています。そうするとスポーツに取り組む子が少なくなっていくのではないかと考えています。支援などはあるのでしょうか。

委員

実際に予算については詰めているところですが、自己負担をお願いすることは避けられません。市内企業に募金をお願いし、負担は少ないよう調整をしているところです。

会長

スポーツ×感動についていかがでしょうか。

委員

スポーツのまち全国2位ということですが、もっと強いサッカーチームや全国的に有名なマラソン大会も他にはあります。2位の要因を簡単に質問してください。

事務局

1位は鈴鹿市です。鈴鹿市は有名なスポーツチームがあるかというところでもありませんが、モータースポーツを強みとしています。磐田市はジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズがあることに加え、金メダルを獲得した卓球の水谷さん、伊藤さんをイメージする方が多いのではないかと感じています。

民間がインターネット上で調査しているものとなり、明確な要因等は把握していませんが、一つの指針としてこのような評価は大切に1位を目指していきたいなとは思っております。

委員

ある首都圏の都市はサッカーチームもラグビーチームもありますが、そんなに高くはありません。あくまでイメージですので新スタジアムができれば順位が上がるということもあるかもしれません。

委員

いつどこでどのような形で調査は行われているのでしょうか。

事務局

全国3万人が回答をしているということです。いろいろな分野やカテゴリーのイメージ調査を行っています。詳しいことは手元に資料がないためお答えできる範囲はこのくらいです。

委員

イベントの拡充となっていますが詳しく教えてください。

事務局

MLBやヤクルトの野球教室、大相撲の磐田場所等トップレベルのアスリートや話題性のあるイベントを通して磐田市を発信していきたいと考えています。

委員

大規模イベントも多くの人が集まるとは思いますが、地元の人が身近で手軽に参加できる催しが少なくなっているように感じます。竜洋では駅伝大会が残っていて、中学生がボランティアで参加し地元の人が沿道に出て応援しています。地元の盛り上がりを感じます。地元を大切にしたいイベントも是非行ってほしいです。

委員

磐田が話題になることはとてもいいことであり、外から見て輝いているうらやましいと思われるようなまちになってほしいと思います。先ほどのイメージ調査の結果も誇らしいです。磐田はジュビロ、レヴズ、ポニータがあり脚光を浴びることも多いですので、続けるところは続けてほしいと思います。

会長

スポーツ×共生に話を移していきたいと思います。磐田市内にはスポーツ施設がたくさんありますが、老朽化が進んでおり安全面に課題があります。市長も認識しており一緒に考えています。

さらに25ページの利用促進という点では空調設備が大きな課題になっているのではないかと思います。ここについては学校施設が先でスポーツ施設はなかなか進まない状況なのでしょうか。

事務局

学校は今年度から3か年かけて全小中学校の体育館に空調を入れる計画で進めています。スポーツ施設としてはアミューズ豊田には空調が設備されていますが建設されてから30年以上経過しております。総合体育館には空調がありません。両施設ともに重要な避難所としての役割を担っていますので、早急に空調を整えていきたいと思っております。

会長

各地区での気軽にスポーツができる環境が薄れているという話は出ましたが、スポレク健康フェスティバル等市民がスポーツに取り組むイベントは磐田市は充実していると考えます。また、体育施設についても旧市町村それぞれに野球場があったりとハード面においても充実していますので、家の近くに何かしらはあるわけです。地域のみなさんが気軽に活用できるようスポーツ施設を再編していく必要がありますね。

同時にスポーツのまち磐田としてシンボルとなるようなものができるといいなと思います。スケートボード等ができる新しい施設も必要ではないかとスポーツ協会へも声が届いています。また、磐田市内外だけでなく広域的に静岡県西部内にてどのような施設が必要かどうか検討する必要があるかと思います。

時間も迫っているので最後に何かある方いらっしゃいますか。

委員

スポーツはいろいろな種類があり、世代によって求められていることも違いますのですべてを網羅することはなかなか難しい側面があります。それでもスポーツのよさというのは全ての方に感じてもらえるものだと思います。

そこで欠かせないのがSNSです。昔であれば紙チラシ等物理的なもので周知できましたが、今で

はSNSが欠かせませんのでスポーツのまち磐田というものをSNS等で発信していくことが求められていると思います。

委員

大規模なイベントは充実していることが理解しておりますが、学校にボッチャ教えに来てくれたとか中学生と一緒に運動したよとか、親目線ではすごくうれしくて、こどもたちが感動していたことも伝わってきましたので、ぜひこどもたちにスポーツを通して感動体験をさせてもらえたらうれしいです。

委員

ジュビロマラソンについてです。昔は旧市町で駅伝やマラソン大会がありました。そこからジュビロマラソンにつながっていくこともあったかと思います。今は少なくなってきてしまっているのかなと感じています。

一つ一つのイベントや事業だけでなく、いろいろなものをつなげていくことでより運動習慣の定着、さらには磐田を盛り上げることに繋がっていくのではないかと思います。

委員

静岡ブルーレヴズは12月21日にホーム開幕戦を迎えます。シーズン開幕戦はアウェイとなっています。昨シーズンはプレーオフ進出でしたが、磐田市と様々連携していければと思っていますし、中学生の一斉観戦もあります。ぜひともみなさまも足を運んでいただいたり何かお力添えいただいたりできる場所がありましたら、ぜひともよろしくお願いいたします。

会長

以上で協議を終わります。進行を事務局にお返しします。

事務局

お礼と連絡事項